廿八品に一文充の大事

合はせて廿八箇大事秘すべし秘すべし云云

序 品

十界 始覚

於=無漏 実相-心已得=通達- 此の文は我が心本より覚なりと始めて覚るを成仏と云ふなり。

妙法 所謂南無妙法蓮華経と始めて覚る題目なり。 不変

方 便 品

真諦 迹門

是法住=法位-スレバ

此の文は衆生の心は本来仏なりと説くを常住と云ふなり。万法元より覚の 体なり。

凡夫即極 住処即寂光なり 大白牛車

古至-道場₋ 棄-此宝乗-

此の文は自心仏乗を極め自身宮殿に入るなり。所謂南無妙法蓮華経と唱へ 奉るは自身宮殿に入る故なり。

極果の処なり

信 解

一念三千なり をのづから十界なり

無上宝珠

ホシイママニエタリ

題目五字なり

此の文は無始の色心は本是理性の妙境妙智なれば、己心より外に実相を求 むべからず。所謂南無妙法蓮華経は不求自得なり。

薬草喩品

三世 一切衆生なるべし

又諸仏子 専=心仏道-

此の文は未来成仏顕然なり。所謂南無 妙法蓮華経なり。

記品

十界実相 三世常住 煩悩即菩提 生死即涅槃

ェッ 常修_梵行_ 於-無量劫-奉レ持=仏法-

一切業障

此の文に常と云ひ無量劫と云ふは即ち本有所具の妙 法なり。所謂南無妙法蓮華経なり。

化城喻品

三千摩点

観=彼久遠- 猶如=今白-

今日の化導末法を指して今日と心得べきなり。此の文は元初の一念一法界より外 に、更に六凡四聖とて有るべからざるなり。所謂南無妙法蓮華経は三世一念なり。

五百品

心法 色法 日本国の一切衆生なり

また。 貧 人見=此珠-其心大歓喜

仹

此の文は始めて我が心本来の仏なりと知るを即ち大歓喜と名づく。所謂南 無妙法蓮華経は大歓喜の中の大歓喜なり。

此の文は本来相即の三身の妙理を始めて覚知するを、以求無上道とは云ふ

人記 品

題目

要

安=住 於仏法-以求-無上道_

なり。所謂南無妙法蓮華経なり。

法 師 品

此の文は我等が己心の外に仏心無ければ、九界の生死が真如なれば、即 ち自在なり。所謂南無妙法蓮華経と唱へ奉るは即ち自在なり。

宝 塔 品

受持なり

凡. 夫即極

見為疾 得_二 無上仏道 –

此の文は即ち円頓の妙戒なれば、等・妙二覚一念の開悟なれば疾得と云ふなり。所 謂南無妙法蓮華経と唱へ奉るは疾得なり。

提 婆 品

此の文の意は三惑の全体即三諦と悟るを変と説くなり。所謂南無妙法蓮華経と唱

三惑 三諦 へ奉るは三惑即三徳なり。

勧持品

此の文は色心幻化四大五陰本より虚妄なり。然るに本覚真如は常住なり。所 謂南無妙法蓮華経なり。

安楽行品

ー切諸法 空 無_所有_ 無レ有_ 常住_ 亦無_起滅_

此の文は任運に常住の妙法なる故に、六道の生滅、 本来不生と談ずるが故に起滅無し。所謂南無妙法蓮 華経は本来無起滅なり。

涌出品

生死二

昼夜常精進 為レ求二 仏道-故 をあっな。 ほうしょり

此の文は一念に億劫の辛労を尽くせば、本来無作の三身念々に起こるなり。所謂南無妙法蓮華経は精進行なり。

寿量品

厭離生死

如来如,実知:見 三界之相 無,有: 生死 —

此の文は万法を無作の三身と見るを如実知見と云ふ。無作の覚体なれば何に依って生死と云はんや。

分別功徳品

持=此一心福- 願求 無上道

此の文は一切の万行万善、但一心本覚の三身を顕はさんが為なり。善悪一如なれば一心福とは云ふなり。所謂南無妙法蓮華経は一心福なり。

随喜功徳品

此の文は一切衆生の妙法なれば、一心の深底より顕はさん事甚深不可 思議なり。所謂南無妙法蓮華経の不可思議なり。

法師功徳品

静 散 十界なり

此の文は一心静なる時は入禅、一心散乱する時は出禅、静散即ち本覚と知るを悉能知と云ふなり。所謂南無妙法蓮華経は入禅出禅なり云云。

随縁生 不 軽 品

不变死

題目五字なり

此の文は法界皆本来三諦一心に具ふる事を顕はせば、己心の念々仏に値ふ事を世々値仏と云ふなり。 所謂南無妙法蓮華経是なり。

神力品

十界なり 断破元品無明 ^{ヵカル テ} - シテ シ ハコト ヒ 是 人於_仏道_ 決定 無レ有レ 疑

此の文は十界各々本覚の十如是なれば、地獄も仏界も一如なれば、成仏 決定するなり。所謂南無妙法蓮華経の受持なり云云。

嘱累品

信=如来智慧-者 = 当=演=説 = 此法華経-

此の文は釈迦如来の悟りの如く一切衆生の悟りも不同有ること無し。故に如来の智慧を信ずるは即ち妙法なり。所謂南無妙 法蓮華経の智慧なり云云。

薬 王 品

レノ ナリ ヲ ク ヲモテ シタテマツルト ヲ 是真精進 是名₌真法 供ニ養 如来_

此の文は色香中道の観念 懈ること無し。是を即ち真法供養如来と名づくるなり。所謂南無妙法蓮華経は唯有一乗の故に 真法なり。世間も出世も純一実相なり云云。

妙音品

久遠 寂光 シテ セ ル ニ 身不-動揺_ 而入_三昧_

此の文は即ち久遠の悟りを身不動揺と云ふなり、惑障を尽くさずして寂光に入るを三昧と云ふなり。所謂南無妙法蓮華経の三昧なり。

普門品

此の文は法界の依正妙法なる故に平等一子の慈悲なり。依正福智共に無量なり。所謂南無妙法蓮華経は福智の二法なり云云。

陀羅尼品

未来顕

スル / ョ ヒトニハ ム セ ナルコトヲ 修_行 是経_者 令レ得_安穏_

現在顯

此の文は五種の妙行を修すれば、悟りの道に入り嶮路に入らざるなり。 此を安穏と云ふなり。所謂南無妙法蓮華経は即ち安穏なり云云。

厳王品

なカシノ ニシテ レ ヘリ ニ 宿 福深厚 生ニ値 仏法―

此の文は一句の妙法に結縁すれば、億劫にも失はずして、大乗無価の宝珠を研ぎ顕はすを生値仏法と云ふなり。所謂南無妙法蓮華経の仏法なり云云。

勧 発 品

此の文は妙法を悟れば、分段の身即ち寂光と顕はる > を命終と云ふなり。千仏とは千如、御手とは千如具足なり。故に不堕悪趣なり。所謂南無妙法蓮華経の御手なり。

已上品々に就いて別伝の事畢んぬ。